

- ★市有財産維持管理費 567万8千円
- ★障害者自立支援特別対策事業費 290万円
- ★南部農免農道改良事業費 1202万2千円
- ★市営住宅維持管理費 225万円

◆平成19年度一般会計補正予算については、今回6343万8千円を追加し、120億5322万1千円となりました。主な補正予算を紹介いたします。

9月市議会定例会は、9月10日から21日までの12日間にわたって開かれ、一般会計補正予算など10議案、報告8件及び追加議案1件ついて慎重に審議が行われた結果、いずれも原案どおり可決又は承認されました。また、決算特別委員会を設置し、平成18年度滑川市各会計決算の認定については、委員会へ付託のうえ、閉会中の継続審査とされました。なお、決算特別委員会の委員は、次の議員に決まりました。

## 市議会9月定例会

一般会計補正予算などを審議

◆予算以外の議案のうち、条例の一部改正3件が可決、市教育委員会の委員に辻沢賢信さん（領家町）が新任されました。



## 救急フェア

(9月9日)

9月9日から15日までの「救急医療週間」に合わせて「救急フェア」がほたるいミュージアム前広場で行われました。

「救急フェア」では、滑川市女性消防団の梨木昌美さん、四十物悠さんが一日救急隊長として参加し、救急業務や救急医療に対するPR活動に努められました。

また、会場には、心肺蘇生法や止血方法を学ぶ体験コーナーが設けられ、はしご車の体験乗車もあり、子供たちは眺めを楽しんでいました。



## 小中学校科学・創意工夫展

(9月15日～17日)

子どもたちが、身近な自然に興味を持って研究に取り組んだり、廃品などを利用し、アイデアを生かして作り上げた作品の「科学・創意工夫展」が博物館で開かれました。

科学展には55点、創意工夫展には38点、合計で93点の力作が出品されました。科学作品の金賞に選ばれた3点は県科学展覧会に出品されます。

科学作品の金賞

- 久保 佳織さん（寺家小6年）
- 大島遼太郎さん（寺家小6年）
- 大島 鮎さん（滑川中3年）

創意工夫作品の金賞

- 水野 莉央さん（西部小1年）
- 河村 紀毅さん（北加積小4年）



## 人権の花運動花鉢贈呈

(9月7日)

ベゴニアの栽培を通して命の大切さや相手への思いやりの心をはぐくむ「人権の花」運動の終了式が北加積小学校、東加積小学校で行われました。夏休みに児童が自宅へ持ち帰って育てた花鉢の一部(103鉢)は、終了式後、地域社会の人権意識の高揚を図ることを目的として児童・人権擁護委員らにより市内の公共施設等へ配られました。

この日、市役所へ訪れた東加積小と北加積小の児童たちの手により、市長へ手渡されました。



## 市民ソフトボール大会

(8月19日)

お互いの親睦を図り、健康の維持増進を目指し、今年で27回目を迎えた「市民ソフトボール大会」が西部小学校グラウンドで開かれました。

炎天下のこの日、東地区や西地区など各地区公民館の9チームが熱戦を繰り広げ、元気よくプレーし、爽やかな汗を流しました。優勝は、浜加積地区（大会5連覇達成）でした。



## 市武道大会

(8月26日)

日本古来の武道（弓道・柔道・剣道・空手道）を通じて、心身の鍛錬と競技水準の向上を図るため、「市武道大会」が総合体育センターで行われました。

市内外のスポーツ少年団や道場から約720人が参加し、剣道競技の石山裕司くん（南部小6年）が宣誓したあと、日ごろの稽古の成果を披露しました。



## 「交通安全りんご」づくり

(9月4日)

交通安全の願いを込め、りんごに交通安全の文字が入ったシールを貼り付ける「交通安全りんご作り」が、柳原保育所の園児たち18人が参加して、江野本農園で行われました。

実が赤く色づいた後、シールを取り除くと白い文字が浮かび上がってきます。これを園児たちが収穫し、10月5日に開催される「第34回高齢者スポーツ大会」に参加するお年寄りに、交通安全を願ってプレゼントされる予定になっています。

